

千鳥福祉会 理事長 山本 昌子

新年あけましておめでとうございます。

後援会の皆様には、心爽やかに新しい年をお迎えることとお喜び申し上げます。

さて、今年はサマーフェスタ15周年、千鳥福祉会25周年と、節目の年を迎えることになります。それもこれも、皆様方のご支援があってこそと感謝の気持ちを忘れることはありません。本当にありがとうございます。

後援会の皆様と一緒に「地域のために」「ハンディキャップがある方が地域で快く生活できるために」と開催してまいりましたサマーフェスタが15回目を迎えることができる…「継続こそ力なり」…「一人で出来ることは限られている」…先人の教訓にある通りです。千鳥福祉会役員一同、今年も皆様方から頂くお力を大切に、祭りの目的と千鳥福祉会の理念「あなただけの生き方を支援し続けます」を「笑顔とわくわく感」を忘れないで追い求めたいと思います。

本年もどうかよろしく願いいたします。



「個人情報保護の重要性」

千鳥福祉会 事務局長 原繁雄

大量の個人情報流出事件は未だ記憶に新しいところと思います。その流出原因は、データベースの顧客情報が外部に持ち出されたことによるものであったり、コンピュータウイルスによる不正アクセスによるものでした。

高度情報通信社会の進展に伴い、個人情報の利用が著しく拡大している現代において、国は全ての法人企業に対し必要な安全管理措置を講ずることを法的に義務付け、或いは努力義務としましたが、事件は起こってしまった。人、設備、資金等について十分に余裕のある法人企業でさえ事件は起きた。

マイナンバー制度に伴い、これから本格的に安全管理措置を講じていかなければならない法人企業にとって十分な犯罪対策や内部統制のための投資は負担となるだろう。しかし、個人情報漏洩など情報セキュリティ事故は、社会的信用の低下、損害賠償、改善費用など大きなダメージと負担をもたらします。私たちは個人情報保護法の趣旨に則り、個人の権利利益の保護に努め、個人の人格尊重の理念のもと、安全管理措置を講じていくことに最善を尽くさなければならぬと考えます。

社会福祉法人の求められる使命について

千鳥福祉会 副部長 神田弘治

新年あけましておめでとうございます。

志の高い後援会員の皆様にご支援頂き、今年で15回を迎えるサマーフェスタが開催できる事に感謝すると共に本年も変わらぬご支援賜りますよう何卒宜しくお願い致します。

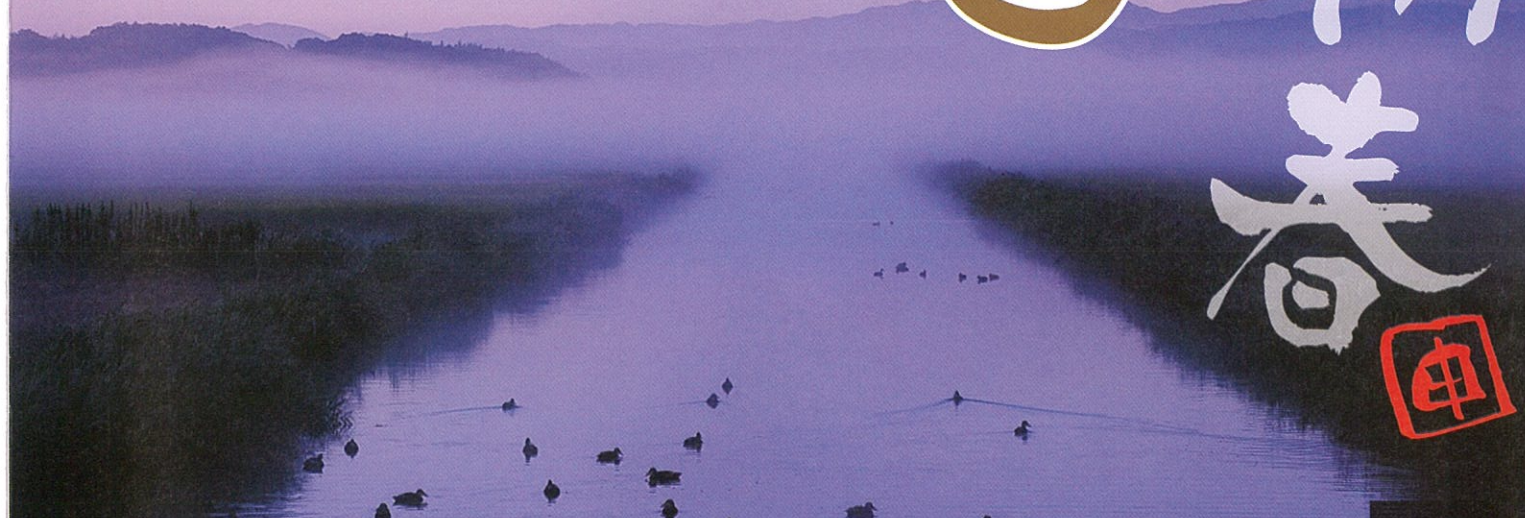
さて、昨今取り沙汰されている社会福祉法人制度改革ですが、その要点の中には社会貢献活動の責務が盛り込まれています。その取り組みの一環として、当法人も、社協が担っている『生活困窮者自立支援事業』の中の『就労準備支援事業』に協力し、生活困窮者の職場体験の場としてのサポート支援を行う事になりました。

これからも、地域に根づく法人としての意義を活かす為に、障がい者福祉のみならず、地域社会の為に出来る事を模索していかなければならないと思っています。後援会員の皆様にもフェスタのみならず、お知恵やお力添えを頂きながら進まなければならない事もあると思います。その際は、何卒御協力の程宜しくお願い致します。

後援会 便利



初春



新春に当たって

新年あけましておめでとうございます。
後援会の皆様には、輝かしい新春をご家族お揃いで健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は、北陸新幹線開通に始まりラグビーW杯での日本代表の活躍、油井宇宙飛行士の活躍、二人の日本人がノーベル賞受賞など、明るい話題も数多くありましたが、一方では、口之永良部島新岳の噴火や鬼怒川の堤防決壊などの自然災害のほか、パリ同時多発テロや靖国神社爆発事件など、暗いニュースもありました。

昨年末通知カードが配布され、本年1月からスタートしたマイナンバー制度ですが、マイナンバーは非常に大切な個人番号ですので、事故の発生や他人に悪用されないように、その取り扱いには十分に留意願いたいものです。

昨年のサマーフェスタ2015は、多くのボランティアの協力のもと、盛大に開催することが出来ましたし、来場者アンケートにもありますように、すべての人々に楽しんでいただけたと喜んでおります。本年もそうした思いを大切に開催し、地域の皆様と交流し親睦を深めるには、まず開催いたします我々が楽しんで笑顔になることではないでしょうか。そして、障がいのある方が自身を取り巻く人々と共生し、かつ、分け隔てなく生活出来る場を創するきっかけにしたいと考えています。

今後も、千鳥福祉会の活動を積極的にお支えする所存ですので、会員の皆様のご支援・ご協力をお願いするとともに、本年が皆様にとりまして良い年となりますようご祈念申し上げます。年頭の挨拶と致します。



千鳥福祉会後援会
会長 川上 裕治
(松江土建株式会社 代表取締役社長)

編集後記

千鳥福祉会・L.C.C.ういんぐ管理者 福庭紳介

師走。郷土の著名な漫画家・水木しげる氏が鬼籍に入られた。ちょうどその前日に、ふと自宅の本棚から1冊だけある同氏の本をかなり久しぶりにひっぱり出して通読した所だった。氏の半生が書かれた自伝的な書物で、何回か読み返したことがある本だったが、あらためて感じる所があり、最終ページを閉じた後4冊ほど勢いで同氏の本をネット注文してしまった。

氏の訃報はその翌日で、偶然と言えば偶然であるが、水木氏と言えば自身も妖怪じみた人。妖怪アンテナから何かを最後に発信していたのだろうか。

水木氏の「幸福の7か条」というものがある。

- 第1条 成功や栄誉や勝ち負けを目的に、ことを行っはいけない。
- 第2条 しないではいけないことをし続けなさい。
- 第3条 他人との比較ではなく、あくまで自分の楽しさを追求すべし。
- 第4条 好きの力を信じる。
- 第5条 才能と収入は別、努力は人を裏切ると心得よ。
- 第6条 怠け者になりなさい。
- 第7条 目には見えない世界を信じる。

齢91歳で漫画雑誌に新連載を始めた「働き者」たる水木氏が、上の第6条の内容を語ると違和感があるが、万事、平静な心で余裕をもってということ語りたかったのか。いろいろ考えさせられる氏の言葉・氏の人生である。

本年度より、法人の広報を担当しております。よろしく願いいたします。

年頭にあたり

申年

千鳥福祉会後援会 相談役理事
稲塚 公郎



明けましておめでとうございます。皆様にはご家族お揃いで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。新しい年が希望に満ちた一年でありますよう心から願っております。昨年も全員が心を同じくしサマーフェスタが盛大に開催されたことを大変嬉しく思っております。

さて、今年は干支で言えば丙申(ヘイシン=ひのえさる)の年です。申(シン=さる)は方位で表すと西から南へ30度、時間で表すと午後4時ごろ、動物ですと猿となります。猿は人類以外の生き物の中で最も人間に近く知恵もある動物です。ですから猿に因んだ話は沢山ありますが、その中の一つで中国の西遊記に出てくる猿・孫悟空は、インドに向かう途中に千万里の天空を駆けめぐり、妖怪変化と戦いながら遂に目的を達成することが出来ました。しかし終ってみると結局のところ仏の手のひらの中での活動に過ぎなかったことに気が付くのです。私の知恵の前では人間の知恵は浅はかなものであるということではないでしょうか。そしてそこには人を戒める教えがあると思われま

す。私たちはとても仏の知恵には及びませんが、困難に対して奮闘し努力することは頑張れば出来ないことはありません。

私達は準備から後片付けまで心一つにして計画、行動、確認、改善を実行し、反省と創意工夫を積み重ね頑張りながらサマーフェスタを成長させ続けて今年で15年目を迎えています。これから自分を戒める気持ちを忘れずに真心で事に接すれば、やがて人を磨くことにつながると思います。

新春に寄せて

千鳥福祉会後援会 理事
安島 壮
安島工業株式会社
代表取締役社長



新年あけましておめでとうございます。皆さまお健やかに新年をお迎えになられましたこと心よりお喜び申し上げます。

今年には申年です。サルは「申」であって決して「猿」ではないそうです。ただ「去る」という意味も持つそうです。「悪いことが去る」とか「病が去る」など良いことや幸せがくる年だと言われています。又、「サル」と読むのではなく「シン」と読むという一説もあるそうです。従って「申」を「伸びる」「もうす」という意味でも使います。「申」に示偏を付けると「神」となります。漢字は、いろいろ変化し意味合いも変わってくるものですね。

私は、還暦を迎えた年から早2年。あっという間に本年で62歳になります。月日が経てば経つほどに身体が思うように動かず、心だけが急ぎすぎ廻りの方々に迷惑やら不快な思いを与える始末です。今年は、気持ちに少しだけ余裕を持ち過ごしたいと思っております。そして、自ら赤いパンツでも穿いて、私は勿論廻りの方々に元氣になってもらいましょう。

「申」年にひたすら神頼み! 何年経っても成長の無い私ですが、本年も変わらず宜しくお願い申し上げます。

謹賀新年

千鳥福祉会後援会 副会長
伊藤 立身
和幸株式会社 監査役



千鳥福祉会の皆様並びに後援会の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しく御願ひ申し上げます。輝かしい新年を迎え皆様方と共に健康で幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

「ひつじ年」は、国内外に於いているいろいろな話題がありました。あかるい話の代表は、ラグビーワールドカップ2015対南アフリカ戦での大逆転劇は日本中が喜びと感動に湧きました。悲しい話の代表は、イスラム国テロ集団によるフランスのパリ同時多発テロ事件と、あたかも戦争と思える報復作戦で沢山の人が犠牲になり、今なお全世界がいつ起こるかかわからないテロの恐怖にさらされています。

当地方でのあかるい話は、やはりテニスプレーヤー錦織圭選手の大きな活躍でしょう。そして「錦織効果」は計り知れないものがあります。休日、松江総合運動公園に足を運ぶと、小中高老若男女多くの方が盛んにテニスをされています。テニス人口の底辺の拡大に大きな力と成っていると思われま

す。「さる年」の本年は、皆様方と共に明るい話で終始するよう切に願っております。共催行事の「サマーフェスタ」は地域密着型の催しとして多くの方々に楽しんで頂いております。今年も明るい話題の一つになると確信しています。千鳥福祉会様の後援組織として引き続きご支援をさせて頂き共に活動していければと願っております。

千鳥福祉会の皆様並びに後援会の皆様、寒さ厳しい折から、くれぐれもご自愛ください。

申年

千鳥福祉会後援会 理事
新田 喜一
新和設備工業株式会社
常務取締役



あけましておめでとうございます。皆様ならびにご家族におかれましては、おだやかに新年を迎えられましたこと、お慶び申し上げます。

今年の干支であります「申」の特徴は「活発」、「ポジティブ」、「場を明るくする」、「場を盛り上げる」等があげられます。いきいきとした一年となる予感がいたします。

「場を盛り上げる」といえばサマーフェスタが頭に浮かびますが、「場を盛り上げる」だけでは終わらず、そのサマーフェスタの後、必ず来場者の方、職員の方、ボランティアの方によるアンケートや意見、要望、反省点が資料として配布されます。昨年度の資料には勿論良かった点、お喜びいただいた点もたくさんありますが反省すべき点、改善すべき点も多く記載されています。中にはストレートなクレームの言葉もあります。「一夜の夏祭りだから楽しい思い出だけを…」では終わらないのがサマーフェスタの良いところであり、サマーフェスタが終わった瞬間に次のサマーフェスタの準備が始まるわけです。(反省資料のサブタイトルも「終わりの、始まり」となっています。)

干支の「サル」の他に、「申」という文字は「樹木の果物が熟して固まって行く様子」を表しているそうです。反省点、改善点が多くあるおかげで、まだまだ成長するサマーフェスタと同じですね。同じつながりで「申」は一年で表すと夏、時間だと16時ですからサマーフェスタの開催時期、開始時刻まで同じとなるわけです。申年開催のサマーフェスタは特別な思いで皆様と共に笑顔で参加させていただきま

同窓会

千鳥福祉会後援会 副会長
長嶺 幸恵



新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。

いじめ、殺人、テロ……。人間を分断し、不信や憎悪を広げる出来事が目立った昨年、その年の漢字も、安心、安全を願って「安」だそうです。今年こそは安心、安全な一年であるよう願うばかりです。

昨年は、久しぶりに小学校時代の同窓会がありました。とてもなつかしく思い出にひたり、何十年たっても再会を喜び合える仲間がいるのは嬉しいものだと感じました。

人生60年、良いこともあれば、仕事、家族、病気など、いろいろな苦難を誰もが乗り越え今があると思うと、みんな見かけはおじさんおばさんにはなっているものの、素敵な顔をしていました。しかし丁度、同窓会の日、旧友の一人が病気の為亡くなり、葬儀の日と重なり、誰もが辛く寂しい思いになりました。みんなの元気の確認のつもりで1~2年毎に集まろうという話になりました。

また人生80年とすれば、のこりの20年どう生きるのか考えさせられました。苦難は強い心で乗り越え、今まででお世話になった人に恩返しをしていこうという心と、自らが縁した人を大事にしていこうという心の余裕をもち、心穏やかな幸福な人生を送りたいと思いました。その為には、感謝の心をもち、恩を知り、思いに報いる報恩の人生を歩まなければならないと思います。

身体の動く限り、私のできることはやっていこう、やらせていただくこうと思います。

今年もサマーフェスタ、よろしくお願い申し上げます。

言葉のちから

千鳥福祉会後援会 監事
青山 まゆみ



新年あけましておめでとうございます。今、スマホが主流の時代になっています。見渡せば若者を中心にバスや電車の中では勿論、歩く時でさえスマホを手に親指を一生懸命動かして、その光景は少し異様に感じます。

昨年色々あって、沢山の方からメールをいただきました。話すのが一番良いのかも知れないけれどそれがなかなかという時、メールは言葉を文字にし視覚で受けとることによって、たかがメールであってそれ以上のものが伝わる事を実感しました。

日本には美しい言葉がたくさんあります。例えばよく使う「お蔭様」。わずか3文字が「目に見えないたくさんの力に支えられて今の自分があることを意識した言葉である」と。

又、「恩送り」という言葉があるそうです。「恩返しは恩を受けた相手に直接返すことですが、恩送りは他の誰かに次々と恩を送りついでいくこと」だと。大好きな映画「ベイフォワード」を思い出しました。これも「先送り」という意味で表現されていますが、オススメの超感動作です。

最後にとてもステキだなと思った韓国のことわざをご紹介します。

「行く言葉が美しくければ来る言葉も美しい」
言葉を大切に。今年もよろしくお願い申し上げます。

心の筋肉

千鳥福祉会後援会 副会長
竹内 房雄
島根電気(株)松江営業所
常務取締役所長



新年明けましておめでとうございます。昨年も、色々な面でご一緒にお世話になりました。

本年はサマーフェスタが第15回という記念すべき年であり、昨年以上の成功へ繋がるよう最大限の協力と連帯を持たなければならぬと思っています。

最近、「感受性」とか「感性」などの言葉をよく耳にするようになりました。世の中が「心と感性」を軸とした生き方になってきているといえます。「感受性」という言葉はラジオのアンテナのようなものではないでしょうか。

職場で一緒に働いている仲間を、其々のラジオに例えてみると、優秀な先輩の知識やスキルの情報や、お客様が投げかけてくださる情報を、自分の感性のアンテナでしっかりと受け止めて、的確な行動に導かれていると思います。しかし、アンテナが錆びていたり、受信機能が壊れていたらどうでしょうか。一緒に働いている仲間やお客様の思いを汲み取ってあげることができないかもしれません。そうならない為には、感性のアンテナとリーダーを常に磨いておく必要があります。「人の気持を考へて行動する」という感性を持つべきと思えば、すなわち感受性という「心の筋肉」をしっかりと鍛える必要があるのではないのでしょうか。

今年も千鳥福祉会様にも、職員の皆様にとりまして、すばらしい一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

テーマはWish!

千鳥福祉会後援会 監事
岩崎 光春
有限会社CPアドス
代表取締役社長



今年、ディズニーシーはサマーフェスタと同じ15周年を迎えます。15周年イベントのテーマは、未来を思い描き、そこへ向かうワクワクする気持ち「Wish」です。スケールは違うにしても向かう気持ちは同じ。ただ単にお祭りを繰り返すのではなく、目的を持って取り組む。計画の段階からワクワクするような内容は、参加されるお客様にもワクワクが伝わります。

目の前にいる人を、どうしたら楽しくさせることができるだろうか? まずは、目の前にいる人を笑顔にしてみよう! 取り組み方は同じ。自分が楽しいと思わなければ、楽しさは伝わりません。日々の生活も同じことですね。会社、家庭、友人、恋人同士でも楽しさを伝えるコツは、自分が楽しいと感じること。

新しい年を迎えたことは全世界共通のこと。新しい年をどう過ごすかは、一人一人の想いで変わってきます。2016年をどのような年にするのか、いい年にするのか、悪い年になるのかは、他の人の力ではなく自分自身が取り組むことで生まれます。

2016年、15周年を迎えるサマーフェスタ。応援していただけの多くの方の力で中身のある素晴らしい、楽しいお祭りになりたいですね。一人一人の笑顔積み重ねて、ディズニーシーの想いに負けないサマーフェスタにしようではありませんか?

今年もあなたの素晴らしい笑顔を貸してください……………



クリーニングの今年の展望

綿久リネン・中国支店支店長 河内山英樹

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

千鳥福祉会様とはワークセンターフレンド様とのホテル・旅館のクリーニング業務を通してお世話になっております。安倍政権のうち出したビジットジャパンキャンペーンのもと宿泊産業は現在、海外からのインバウンドを中心に空前の活況を呈している状態です。世界中から様々な「思い」を持って日本に訪れる方々のその「思い」に応えることが今後もこのブームを継続するにあたり、一番重要な要素となるのではないかと考えております。

「思い」がなければ何も始まりません。思うことによって全てが始まり、形となって結果に現れるのではないのでしょうか。千鳥福祉会様と同じ「思い」を持ち、ともに歩んでいかせていただきたいと思います。

皆様の「思い」が実を結び一年となりますよう心からお祈り申し上げます。